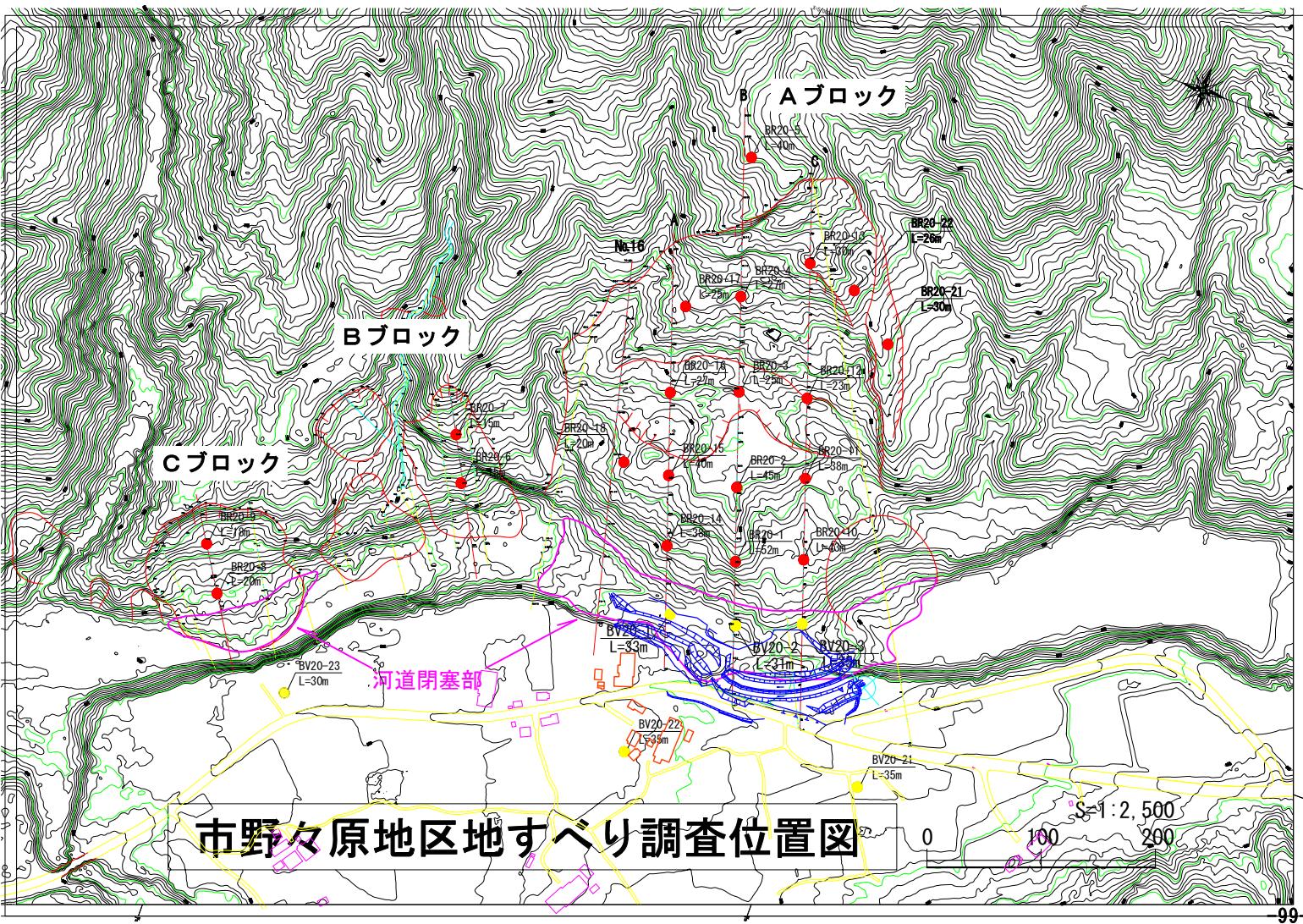
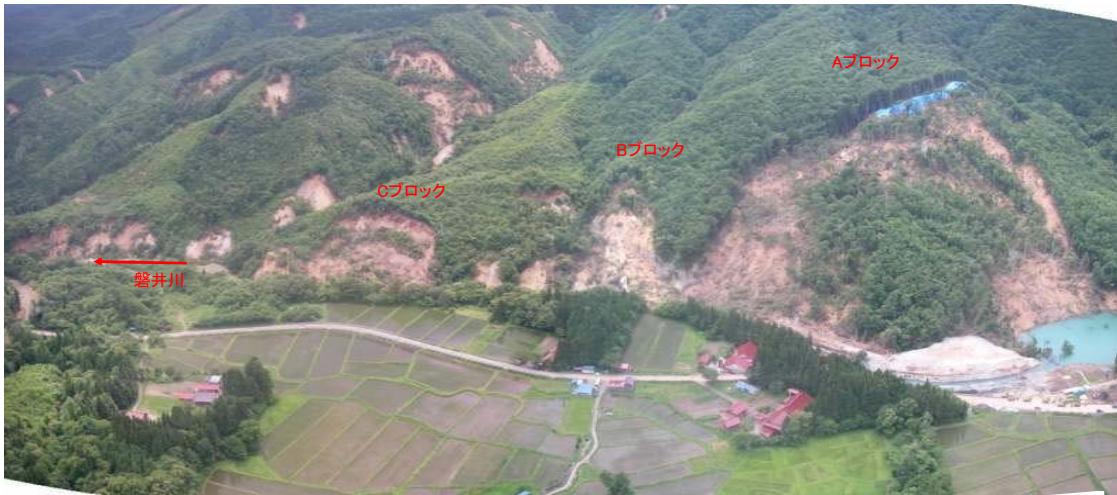


(9) 市野々原地区すべり（地すべり現況・調査結果）

市野々原地区地すべり調査位置図





市野々原地区地すべり全景



Aブロック内縦断全景



Bブロック右側部の崩壊(隣接する沢に向かう)



Bブロック左側部の崩壊状況



Bブロック崩壊状況



Bブロック頭部滑落崖状況



Cブロック滑落崖全景



Cブロック内斜面状況



Cブロック 移動岩塊



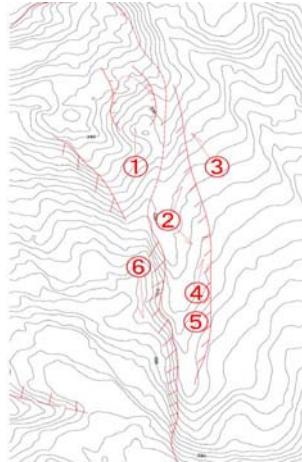
Cブロックすべり面(風化凝灰岩)



①陥没を伴う段差地形



②100m以上の連続した亀裂(最大比高1.0m、深さ1.4m)



写真撮影位置



③斜面上部の亀裂状況



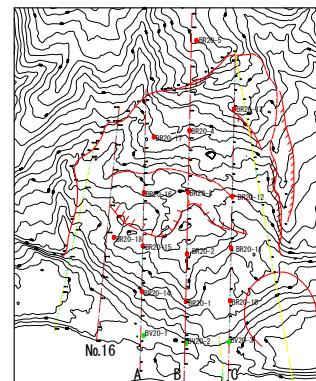
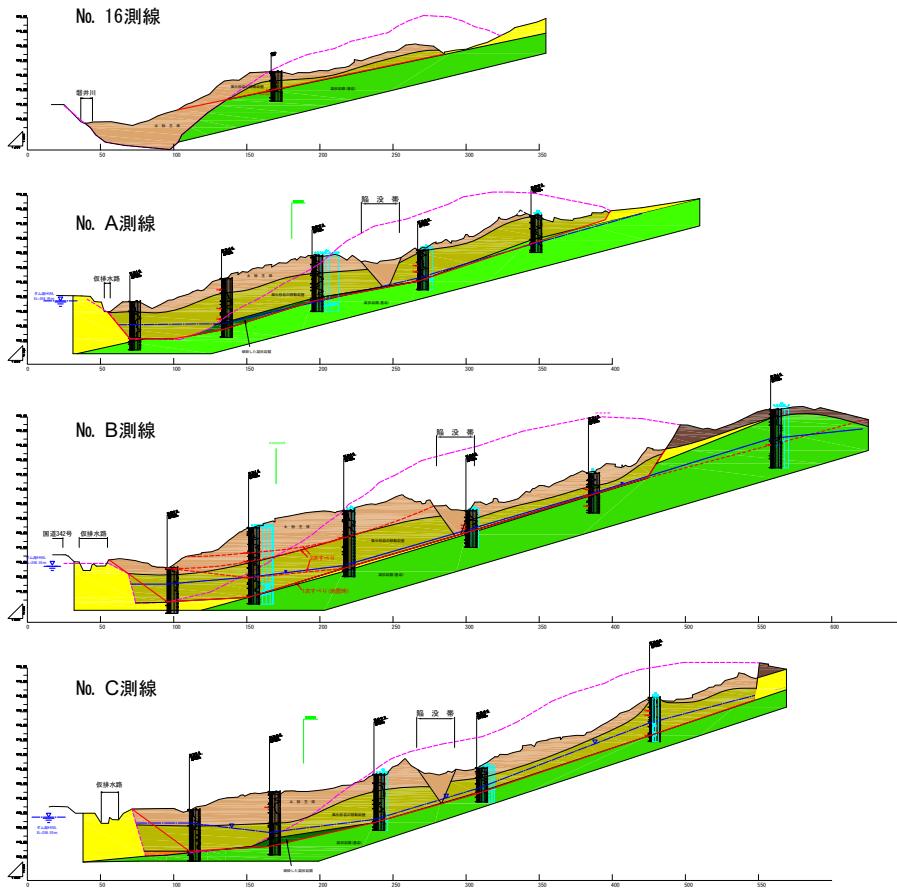
④主ブロック側に段差を伴い沈んだ亀裂



⑤開口した亀裂



⑥主ブロック側の側壁(地質は安山岩転石を混じる土砂)



地層層序表

地質時代		地層名	岩相	特徴
新第三紀	古第三紀			
	洪積带	現河床堆積物	砂礫	豊井川河床に分布 BV20・2孔25m附近で確認
	地すべり前積土	疊混り粘性土 ～粘性土	崩壊斜面に広く分布 旧崩の堆積土がある	
更新世	段丘堆積物	砂礫～粘性土	B～Cプロック上の緩斜面に分布 層厚は3～5m程度？	
中新世	中期火山岩類	疊混り土砂	安山岩質の角～転石を混じる 地すべり山腹の上部に広く分布	
中	下風江層	凝灰黄鉄岩 粗粒砂岩	細粒均一な海成砂岩で特徴的に 緑色を呈する スコリヤや石英粒を含む	
		凝灰岩～ 火山凝灰岩	上位層に比較的多く 火成岩凝灰岩	10～20° 前後の流れ盤

すべり面深度一覧

孔番	すべり面深度	地質状況	水位
BR-20-1孔	46.4～47.5m	風化凝灰黄鉄岩の下面、緑灰色の複雜混じり粘性土	33.7m
BR-20-2孔	39.3～39.55m	風化凝灰黄鉄岩の下面、複雜混じり粘性土	37.40m
BR-20-3孔	14.6～14.9m	風化凝灰黄鉄岩の下面、複雜混じり粘性土の疊合部	13.29m
BR-20-4孔	15.25m	風化凝灰黄鉄岩下面、以降は非常にルーズな土塊	14.44m
BR-20-5孔	24.35m	24.35mまで風化岩で地盤やセメント	20.64m
BR-20-10孔	37.0～37.2m	火山凝灰岩(海成砂岩)、複雜混じり疊混り粘土	28.20m
BR-20-11孔	32.55～32.85m	細粒砂岩の下面、複雜混じり粘性土	30.62m
BR-20-12孔	15.85～16.85m	風化凝灰黄鉄岩の下面、粘土を作りうる疊混り粘土	13.93m
BR-20-13孔	25.5～25.9m	風化砂岩の下面、鐵鉄を作りうる疊混り粘土	17.23m
BR-20-14孔	24.8～24.95m	火山凝灰岩(海成砂岩)、鐵鉄を作りうる疊混り粘土	30.7m
BR-20-15孔	30.9～31.0m	火山凝灰岩(海成砂岩)、鐵鉄を作りうる疊混り粘土	32.0m
BR-20-16孔	20.8～21.2m	火山凝灰岩の上面、複雜粘土	18.95m
BR-20-17孔	18.9～19.0m	風化泥岩の上面、乱れた疊混り粘土状	19.47m
BR-20-18孔	12.6～12.95m	風化凝灰黄鉄岩の下面、複雜混じり粘性土	12.94m



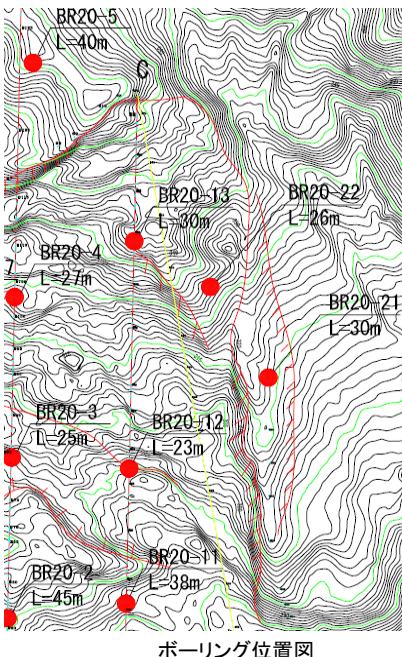
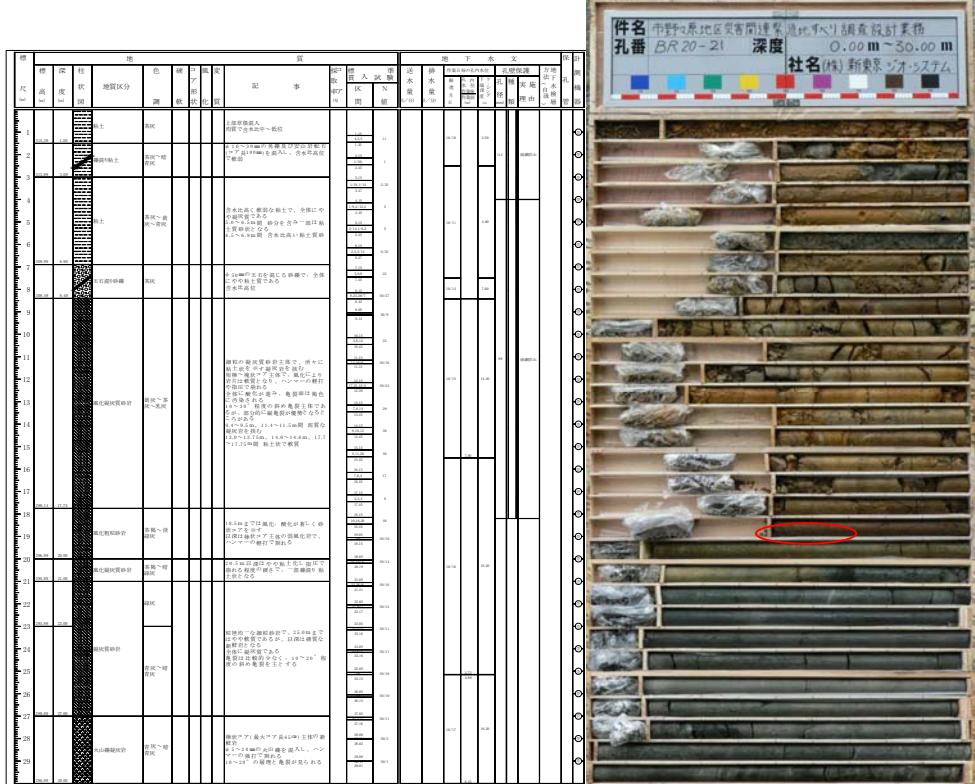


モーリング名		調査位置							日付		記録	
発注者		地質							測定		記録	
北山林管理課		新潟市立北山林管理課							平成 20年7月22日～20年7月29日		未終了	
モーリング名	BR20-3 孔	地質	岩相	風化	地質	岩相	風化	地質	岩相	風化	地質	岩相
孔口標高	295.92m	方位	N 36° E	方位	N 0° E	方位	N 0° E	方位	N 0° E	方位	N 0° E	方位
掘進長	25.00m	深度	0m	深度	25.00m	深度	25.00m	深度	25.00m	深度	25.00m	深度
標	地	地	下	水	文	地	下	水	文	地	下	水
標	高	底	柱	狀	質	標	入	試	標	標	入	試
尺	度	深	柱	狀	質	尺	度	試	尺	度	度	水
尺	度	深	柱	狀	質	尺	度	試	尺	度	度	水
1						1			1			
2						2			2			
3						3			3			
4						4			4			
5						5			5			
6						6			6			
7						7			7			
8						8			8			
9						9			9			
10						10			10			
11						11			11			
12						12			12			
13						13			13			
14						14			14			
15						15			15			
16						16			16			
17						17			17			
18						18			18			
19						19			19			
20						20			20			
21						21			21			
22						22			22			
23						23			23			
24						24			24			
25						25			25			
26						26			26			

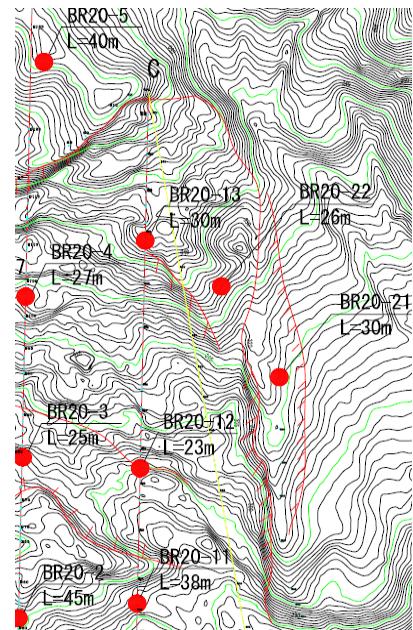


BR20-3 孔

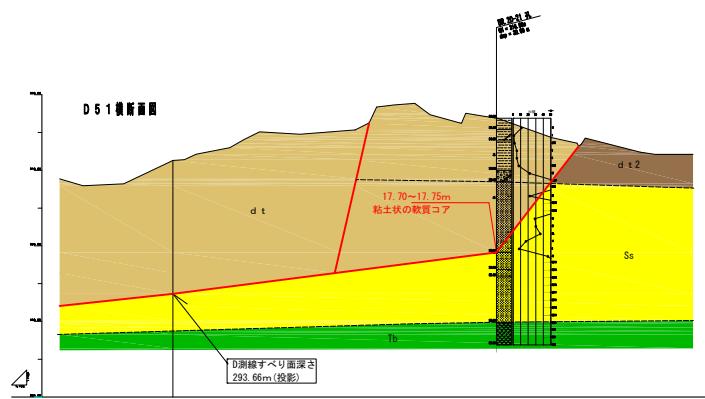
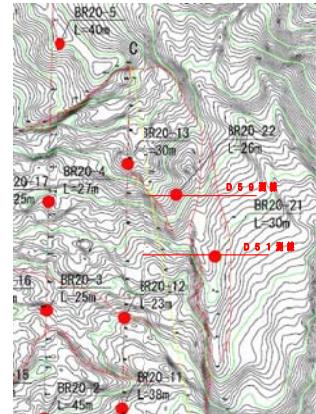
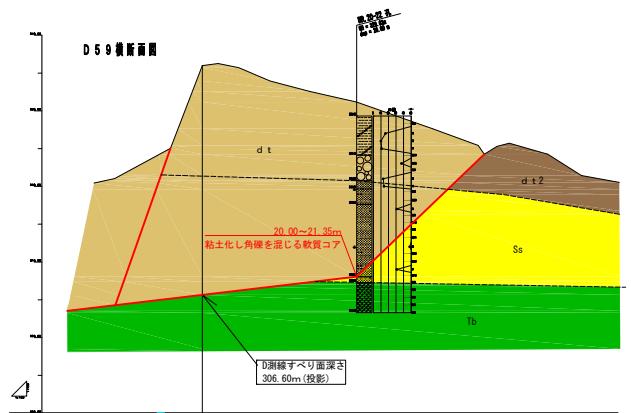
BR20-21孔 Dep=30.00m



BR20-22孔 Dep=26.00m



ボーリング位置図



Aブロック左側壁部地質断面図

拡大した亀裂部分で確認された地質不良部は、主ブロック内と同様の地質状況にあり、すべり面深度との関係から考えて、連続するものと推定される。
ただし、歪み計観測では有意な地
中歪みの累積は見られない。

